

自由律俳句

おおくさ編集室選

甘い思いが長引かせた歯医者通い 茶屋 藤原 寿郎
 帰られないよと娘に送る荷物あれこれ 茶屋 岸本 治枝
 今を記す日誌が少しづつ乱れる 神戸上 柴田 篤子
 治まらぬコロナ禍雪にストレスを踏む 茶屋 木山 操子
 自動ドア踏みここから病院のにおいする 茶屋 小林 道子
 大きな満月今夜もうさぎが餅をついている 茶屋 長谷川由美子
 大根洗った赤い手コーヒーカップを包む 生山 渡辺 圭子
 老いの不安牛を頼りに春一步 茶屋 木山 輝子

俳句

駄句駄句会編集室

うららかや子らの囁き更衣室 萩原 岡本 健三
 初春や笑顔とともに年あける 萩原 金谷 松代
 冬籠り埋もれる暮し人恋し 宮内 田辺登志美
 雑煮餅朝のあいさつ一步から 神戸上 笹間 玲子
 三密をさけて迎えし去年今年 宮内 木村萬佐子
 寒牡丹サーチライトで華やぎぬ 宮内 船越 裕子
 リュウグウの砂を向いて年くれる 下石見 矢田貝 元
 初春や昭和は遠く年女 矢戸 和田 淑子

短歌

六根で開く世界も幻と 湯河 山田 司郎
 見極めて知る取り越し苦労
 日めくりをめくり忘れてくれた日も 気付かずにいるリタイヤの我
 健康はバイタリティの源と 鍛えし身体 ここに示さん 下石見 浅川 三郎
 厳寒の凍てつく道は遠慮せり ノルディックウオーク体育館等にて 上石見 福田 輝之
 早朝にアイスバースンや下り坂 プレーキ踏みて汗流れたる

編集後記



この写真は、「オッサンシヨウオオが行く」の取材で井上さんに愛犬を撮っているところを撮らせてくださいとお願ひした写真です。井上さんの大切にしている「日常の自然な表情」とは違う写真だなと思ひ9p.ではボツにしました。ですが、いい子で並ぶ二匹の背中が可愛いのでお届けいたします。井上さんの作品は写真を撮るための写真ではなく、日常の幸せな一コマを切り取った写真で、素敵な人柄・写真への思いが伝わってきます。私自身も広報誌を作るために取材するのではなく、日常として町で起こっていることをお伝えする、という原点を大切にしたいと感じました。

問 役場企画課 82-1115

「手話教室のお知らせ」

手の動きや顔の表情で意志を伝える手話。鳥取県では手話言語条例制定後、手話を見かける機会が増えています。日南町手話サークルでは、1ヶ月に2回のペースで基本的な手話の学習会を開催しています。手話に興味をお持ちの方は、一緒に手話を学んでみませんか。

3月の日程

3月の学習会は未定です。

【お問い合わせ先】

石田由香里 (080030529933)
 浅野 博美 (090097341887)



両手の親指を伸ばして人差し指を曲げ、親指を頭の両横につける



「肉」

右手の親指と人差し指で左手の甲をつまむ



「年」

左手を丸めて筒状にし、右手の人差し指をポンとあてる



「牛乳」

右手の親指とほかの指を軽く曲げて右胸におき、手を2回握る

「手話表現には、色々な表現方法があります。」

